

2013年常福寺「報恩講」が厳修されました。

さる10月19日、20日の二日間、今年の親鸞聖人御命日法要「報恩講」が厳修されました。今年^{ききょうしき}は初日の速夜法要において、帰敬式（門徒さんが法名をいただく儀式）が執り行われ、8名の方が受式され、仏弟子としての名をいただかれました。



帰敬式の様子・おかみそり(剃髪)
実際には剃りませんが、昔にならって
刃のないかみそりを頭に当てます



法名の授与



受式者代表による誓いのことば

二日目の日中法要では、お勤めのあと、愛知県西尾市本澄寺・^{なぎのあきひと} 椰野明仁住職にご来寺いただき、薩摩琵琶演奏による親鸞聖人御絵伝の絵解き法話がありました。

御絵伝は、親鸞聖人のご生涯を絵で表した掛け軸で、今回は出家得度から法然上人に出会うまでの半生をお話し下さいました。

ダイナミックな琵琶の音色と椰野先生の声による絵解きは、お話の中にぐいぐいと引き込まれていく力強さがあって、でも時折ホロリとするような優しい語り口調のお話にも、参加者のみなさんも熱心に耳を傾け、見入っていらっしゃいました。

初日は快晴、二日目は一日雨が降りやまない天候でしたが、お遠方の方もお近くの方も、たくさんの方にお足をお運びいただき、今年も無事に報恩講が終わりました。



椰野明仁住職の琵琶演奏
前日の懇親会では「敦盛」の
ご披露もありました

